

ライフサポートファイルについて

ライフサポートファイルとは

お子さんの生活の様子や、見守っている方々からの情報を、保護者の方が記録したり、書類を挟みこんだりしていきます。お子さんのことで面談するとき、ライフサポートファイルを確認することで、保護者からの説明だけでなく、客観的な記録も参考になるほか、教育・福祉を超えて支援方針を共有することでより良い支援に繋がります。

目的

支援が必要な子どもが抜けなく、切れ目なく支援を受けられるためにライフサポートファイルを活用し、保護者が持参する、支援者が活用するのが当たり前となるような支援体制を構築します。

配布対象者

支援が必要な障害児（0～18歳未満）および発達の気になる児童（障害の有無に関わらず）の保護者、かつ利用希望のある保護者

作成するメリット

本人・家族にとって

◆保護者の聞き取りの負担軽減

支援機関が変わるたびに繰り返し成育歴等話すこととなる負担を軽減できます。将来的には、療育手帳や障害年金を申請する際、振り返るときの資料にもなります。

◆保護者の急な入院や親亡き後の心配の軽減保護者の代わりに本人の情報を伝える情報ツールがあることで、将来の不安を少しでも軽減することができます。

支援者にとって

◆支援の連携→支援者間で教育・福祉などの立場や視点の違いを超えて支援の方向性を共有する助けになります。

◆本人のイメージがつかめる→記入されたシート、綴じ込まれた資料から本人の全体像把握に役立ちます。



図：鎌ヶ谷市HPより

ライフサポートファイルについて

配布数実績

	作成数	配 布 数				
		こども発達センター	障害福祉課 (郵送含む)	教育研究所	基幹相談支援 センター	合計
H30年度	200	88	83	5	2	178
H31年度	120	65	51	7	0	123
R2年度	130	64	33	7	1	105
合計	450	217	133	19	3	406

※医療的ケア児40名配布（事前郵送34名＋一般配布6名）

令和2年度の取り組み

- ・ライフステージが変わるタイミングで、支援者から保護者に活用について声掛けすることが効果的であることを確認し、就学相談や進路面談の場面などで、ライフサポートファイルの有無を聞いてもらい、継続的に周知を行った。
- ・相談支援部会と相談支援事業所連絡会にて、趣旨説明と活用についての協力依頼を行った。
- ・支援者側に使用イメージを持ってもらうため、また、保護者の書く負担を軽減するため、使い方・書き方のナビゲートをする静止面の作成に取り組んだ。

今後の課題と目標

- ・支援者側が、使うイメージがまだ持っていないため、支援者から保護者への働きかけが十分ではない。障害児通所支援事業所等に静止面の案内と周知状況に関するアンケートを実施し、ライフサポートファイルを活用することで、必要な支援がより効果的にできるイメージを持ってもらえることを目指す。
- ・周知状況の経過を追いながら、必要に応じてライフサポートファイルの見直しを検討する。
- ・これらについて地域自立支援協議会こども部会において検討を継続。